

業務報告の概要：緑環境等に関連した調査研究等 「グリーンプラザひばりが丘南屋外環境に対する評価調査」

【調査の目的】

グリーンプラザひばりが丘南は、既存樹木の保存や隣接する「せせらぎ公園」との一体的整備、屋上ビオトープ等の整備などを行った多様な緑環境を有する団地である。

本調査では、当団地の緑環境、及び環境配慮の試みに関して、団地居住者及び周辺地域も含めた「屋外ユーザー」の評価・意見を把握すること、また具体的な取組み内容を伝える周知・啓蒙活動を行い、今後の屋外空間の計画や維持管理に役立てていくことが目的である。

【調査の内容】

①地域の緑空間としての利用状況とニーズの把握

- ・公民館資料などの文献調査により、自治体や周辺の学校・市民グループ等の環境に関する活動の概況を把握した。
- ・ヒアリングを実施し、公園及び当団地の屋外環境への具体的な評価や意見を把握した。
- ・高齢者の自然観察グループや子どもの自然遊びの会など活発で質の高い市民活動が行われ、市の公園と一体的につくることが、多様な緑により関心と評価が高まっていることがわかった。

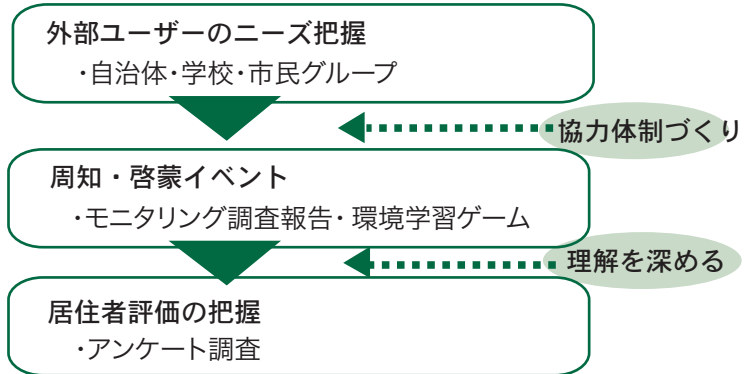
②周知・啓蒙イベントの開催

- ・谷戸せせらぎ公園や屋上ビオトープでの自然体験ゲーム、及び環境への取り組みや成果（生物モニタリング調査結果）を伝えるパネル展示を行った。パネルはイベント参加者以外の多くの人の目に触れるよう、動線沿い・要所要所への展示や楽しい内容を工夫した。

③アンケート調査による利用者の意向・評価の把握

- ・全戸配布アンケートにより、団地の緑環境や「屋上ビオトープ」「せせらぎ」等、環境配慮の取り組みに対して評価・意見を把握した。
- ・緑の保存・移植に91%、屋上緑化に84%と高い賛同が確認された。

■作業フロー



■周知啓蒙イベント

展示パネルリスト

- 1.昔のまちと緑
- 2.今のまちと緑
- 3.この地域で暮らす生き物
- 4-5.環境づくりの考え方
- 6.生き物呼びこむ緑づくり
- 7.こんな鳥がやってきました
- 8-10.こんな虫がやってきました
- 11.秋に鳴く虫のいろいろ
- 12.チョウのいろいろ
- 13.巨大なコナラのお引越し



自然体験ゲーム  
～オオタカの正しい大きさは？

■展示パネルの一例

～シンボルツリーとなっているコナラの由来・移植について説明



巨大なコナラのお引越し

この巨大なコナラの木は、団地ができる前から、約60年くらいの間、この土地で生き続けてきました。



団地のシンボルとなるように、この大きな木を、ここに動かしました。いつまでもみなさんに大事にされることを願っています。



写真・資料提供：（株）和計画コンサルタント

■屋外空間の評価

～団地の樹木に関する印象・評価

